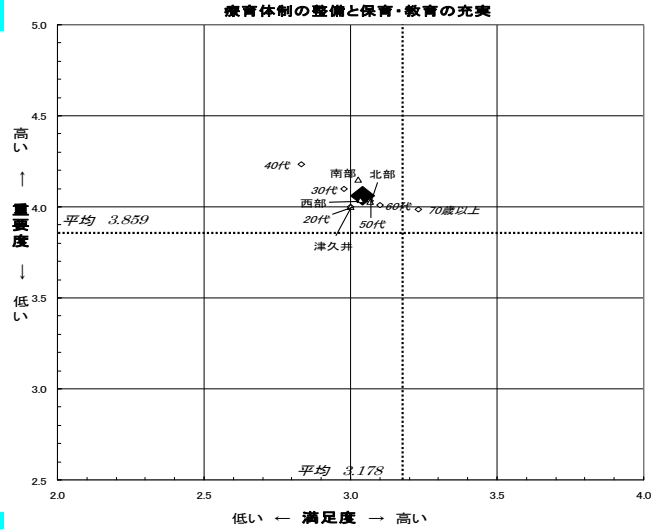


4 市民満足度調査結果(平成20年度実施分)

- この施策の満足度は3.039で121施策の中で103番目。
- 重要度は4.061で36番目である。
- 改善要望度は0.2407で21番目である。
- 年齢別にみると、満足度は70歳以上で最も高く、40代で最も低くなっている。重要度は40代で最も高く、70歳以上で最も低くなっている。
- 地区別にみると、満足度は北部で最も高く、津久井で最も低くなっている。重要度は南部で最も高く、津久井で最も低くなっている。



5 1次評価(2つの視点から評価を行う)

視点の種類	評価基準・着眼点	評価点	H18評価点	前回(H18)評価結果との比較分析
有効性	各事業が果たす施策に対する目標の達成度合いを把握し、効果の高い事業を実施している	④ 2 1	④ 2 1	
市民満足度	市民満足度調査により市民ニーズを把握し、市民の立場に立って事業展開している	4 ② 1	④ 2 1	平成20年市民満足度調査票では、地域生活支援事業についてと療育相談室分室設置について例示事業として挙げたが、地域生活支援事業については平成18年度から現在の名称に変更され、まだ一般市民には、なじみが薄かったこと、療育相談室設置については旧4町地域への設置ということで旧市部分の市民にはプラスになるイメージがなかったため、全体的な評価が下がったと思われる。ただ、データとして、地域生活支援事業の相談件数は、平成16年度と平成19年度を比べると1.3倍強に増加しており、療育相談室利用者も分室開設により着実に増加しており、市民ニーズには充分に対応している。
合計		6		評価結果に基づく区分(2項目の合計点数による) A(6点以上) B(5点・4点) C(3点以下)
				1次評価 A

* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

6 課題と解決策(現状または、評価結果から)

課題	新たな療育に関する事業や取り組みが、一般市民に認知されていない。 地域生活支援事業を通して、保健や教育等との連携の必要性が浮き彫りになった。
解決策	一般市民に対して、陽光園を中心に行っている療育に関する取り組みについて、機会を捉え積極的にPRしていく。(新たなパンフレット作成等) 保健所や教育委員会等とのつながりを強化し、障害者の生涯にわたっての支援を行う。

7 2次評価及び意見(1次、2次で評価に相違がある場合など、必要に応じて意見を記入)

	2次評価 A
--	-----------

* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

8 3次評価及び意見(評価結果及び課題・解決策について、必要に応じて意見を記入)

【評価コメント】 施策目的から考えると、指標4の方が評価の判断指標としては相応しいと考えたため、評価を変更する。	3次評価
【指摘事項・意見】 ・指標2～4の相談率等については、相談等の結果得られる成果がわかる指標を検討すること。 ・指標1について、利用者満足度を測るなら、アンケートも有効である。	B

* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

